

コールセンター Q&A

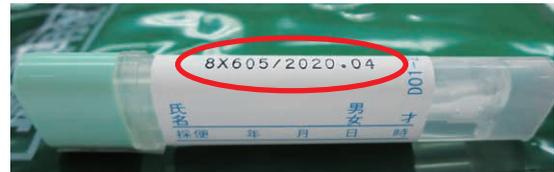
Q100

便中ヘモグロビン専用容器の提出時に注意することを教えてください。

A100

便中ヘモグロビン専用容器に採便後は原則、冷蔵庫保存（4℃位）が好ましく、2週間安定しています。やむを得ず冷蔵保存が難しい場合は下記を参考にご提出ください。

温度条件 (直射日光の当たらない室内)	安定期間
20℃付近	10日程度
25℃付近	1週間程度



30℃以上で保管されますと早期にヘモグロビンが壊され偽陰性となる可能性があるのをご注意ください。2回法のご依頼で続けての採便が困難な場合、1回法として2度ご提出いただくことも可能です。また、容器の使用期限が横（写真赤丸部分）に記載されていますのでご確認の上、ご使用ください。

お問い合わせ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 担当 血液・尿一般係

おかげさまでQ&Aは2011年1月号の掲載開始から第100回を迎えました。
第1回からこれまでのQ&Aはウェブページでもご覧いただけます。
URL：<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/newsletter>

きやうちボール

元号が「平成」から「令和」に変わって初めての検査センターだよりの発行となります。

広島市医師会臨床検査センターは、昭和36年7月1日に広島市中区国泰寺で原爆被爆者福祉センター内に「健康管理所」という名称で開設いたしました。その後、平成元年8月17日に国泰寺から現在の千田町に移転し、31年が経過しています。

当検査センターに「平成生まれの職員」が入所してきた当時は、時代の流れを感じたものでした。20年後には、「令和生まれの職員」が入所してくることを想うと次の世代にバトンタッチできるよう、私たち「昭和生まれの職員」は頑張らなければと、気持ちが引き締まる想いです。今回のアンケート同様に、当検査センターへのご指導を変わらずよろしくお願い申し上げます。

三宅 康雄 (営業課検体受付係主任)

<広報委員> 谷敷 圭美 / 石田 啓 / 枡本 健 / 大田 彩咲日